

たま未来・産業フェア 出展者インタビュー

地域のつながり強化と 手厚いサポートが成長に貢献

株式会社シグナイト（東京都府中市）

セールス & マーケティング部

森田 寿哉氏（写真左）

バックオフィスグループ セールスサポート部

眞茅 侑利子氏（写真中央）

バックオフィスグループ セールスサポート部

小林 小百合氏（写真右）

来場を機に知った地域の魅力で出展意欲が高まった

◆ 事業の内容と、第3回たま未来・産業フェアへの出展の経緯・目的を教えてください。

弊社は、クラウドと AI の力であらゆるデータを駆使し、業務の意思決定を支援するサービスを提供しています。

たま未来・産業フェアについては、たまたま私がイベントを知り、前年のイベントに足を運んだことがきっかけです。身近な地域でこれほど多様なビジネスや業種を展開している魅力的な会社が集まる展示会があることに驚き、実際にお付き合いが生まれた企業もありました。この素晴らしい場に、「出展する側」として参加したいと強く思い、申し込みました。

多摩地域には本当に数多くの優れた企業が存在していますが、普段はなかなか外から見えにくいという課題もあります。たまフェアへの出展を通じて、自社の新しいソリューションや存在感を地域に向けて広く PR し、地域を構成する一員としてその魅力を発信する一翼を担いたい、力添えをしたいという目的を持って出展を決めました。



ターゲットに合わせる展示戦略を工夫

◆ 出展する展示内容を決めるに当たっての経緯や工夫した点を教えてください

社内で 5 人ほどの運営チームを立ち上げ、何度も案を出し合い、アイデアを固めていきました。

最近のトレンドである AI の技術を社外向けサービスとして前面に出す初の機会として、金曜日と土曜日で来場者の層が異なる点に着目しました。ビジネス色が強い金曜日には「AI 広告クリエイティブ」をプロトタイプとして展示し、実用的な反応を見る機会としました。

一方、一般の方や家族連れが多く訪れる土曜日には、子どもでも親しみやすいよう「地図（GIS）のソリューション」を展示しました。地図上に、まちのビジョンに沿ったアイテムを配置していくものですが、アニメーションやサウンドを演出して、お子様が楽しめる工夫をしました。

手厚いサポートで、効果的な展示会運営のノウハウを獲得

◆ たま未来・産業フェアに出展したことで、どのような成果や学びが得られましたか。

弊社は、こうしたイベントに出展するのが8年ぶりということもあって、担当者全員が初めての経験で、何から始めればよいかわからない状態でした。そうした中で、事務局のセミナーや手厚いサポートのおかげで、事前準備も上手く進めることができました。また、設営日には、タペストリーやレイアウトについても具体的にアドバイスをいただき、その場で内容の改善も行うことができました。その改善したところが、来場者から好評だったので、非常に嬉しく思いました。



また、土曜日のお子様との触れ合いでも気づきがありました。私たちが用意したサービスは、お子様も楽しんでいただけるように、アニメーションやサウンドを取り入れており、これが思いの外、お子様に喜ばれました。弊社では、まだお子様向けのサービスを広く提供している状況ではありませんが、このイベントの出展を通じて、普段の仕事の中では絶対生まれてこない着眼点を得られたというのは、大きな結果だと感じています。

さらに、こうした経験を活かし、この夏には、別の展示会にも出展することにしています。ただ、たま未来・産業フェアの出展料が無料だったこともあり、一般的な展示会は、やはり出展コストが大きいことを実感しています。

◆ 出展者同士の交流も盛んに行われていると思いますが、横のつながりは生まれましたか。

出展者同士の交流は、一番はやはり展示会当日の対面でのコミュニケーションが大きいと感じました。

また、初日の夜には、出展者同士の交流会も開催され、そこでも様々な方との交流が生まれました。さらに、展示会を振り返る報告会も開催されるなど、いろいろな交流の場が用意されていることも魅力だと感じました。

地域と共創するコミュニティスペースも運営し、オープンノベーションに取り組む

◆ たま未来・産業フェア出展のほかに、オープンノベーションに向けた皆様の取組を教えてください。

甲府出身の役員がいる縁から、自社だけでは生まれない新しいアイデアや価値を地域と共に創り出すことを目的として、甲府市にコミュニティスペース「SHIRO-no-IRO」を開設しました。普段は学生向けに開放していますが、休日には地域の企業や住民の方々に勉強会や交流会の場として活用していただいています。

弊社のスタッフも積極的に参加し、地域の方々とダイレクトに対話やコミュニケーションを重ねることで、自社単独では得られない新しい気づきやビジネスの種を育てることを目指しています。



こうした地域のコミュニティへ深く入っていく活動を通じて、地元の企業様との絆をさらに強め、将来的には多摩地域での活動とも連動させながら、地域発の新しいビジネスやオープンノベーションを生み出していく効果を期待しています。

手厚い支援で、最初の一步に最適な展示会です

◆ 最後に、たま未来・産業フェアへの出展を検討中の方へメッセージをお願いします。



たま未来・産業フェアの最大の魅力は、事務局の皆様による本当に手厚いサポート体制にあります。展示会のノウハウが全くない状態からのスタートであっても、準備段階から当日のブース設営にいたるまで、親身になって細やかにフォローアップしてくださるため、最後まで安心して駆け抜けることができます。

弊社も久しぶりの展示会で不安がありましたが、様々な出展者サポートがあったからこそ、自信を持って一步を踏み出すことができました。手厚いバックアップを受けながら、多様な来場者との貴重な対話の機会を持てるこのフェアは、新しい挑戦の場としてこれ以上ない環境です。出展を迷われているのであれば、ぜひ恐れずに、この素晴らしい共創の場へ一步を踏み出してみてください。